

サンゴ礁保全行動計画策定会議

これまでの経緯

サンゴ礁保全行動計画策定会議
第5回サンゴ礁の保全に向けた統合的沿岸管理分科会
平成21年2月11日
奥武山総合運動公園 武道館 研修室

目的 及び 策定者

- サンゴ礁生態系を中心とした沿岸生態系の
 - (1) 保全に関する既存の取り組みのレビュー
 - (2) 劣化の現状とその諸原因に関する包括的な整理
 - (3) 保全に関わる様々な主体の情報・意見交換に基づく連携体制構築
 - (4) 「サンゴ礁保全行動計画」の策定

○策定者：環境省

位置づけ

生物多様性国家戦略

既存の指針や活動状況を踏まえ、保護区の設定、保全・再生のあり方、病気への対応、利用ルール、モニタリングなどの課題に関して、

今後5年を目処に多様な主体の参加によるわが国の

[サンゴ礁保全行動計画を策定します。](#)（環境省）

（第3次生物多様性国家戦略、第2部、第1章、第9節 沿岸・海洋、平成19年11月）

海洋基本計画

生物多様性を確保する上で重要な海域を選定した上で、

生態系の特性に応じ、生物多様性を確保するための

[行動計画を策定する。](#)

（海洋基本計画、第2部、2. 海洋環境の保全等、平成20年3月）

策定会議の立ち上げ

有識者ヒアリング

- 第1回 有識者ヒアリング（平成19年11月6日、東京）
- 第2回 有識者ヒアリング（平成19年11月21日、沖縄）
- 第3回 有識者ヒアリング（平成20年1月7日、東京）

準備会合

- 第1回 サンゴ礁保全行動計画策定委員会準備会合（平成20年3月28日、東京）

策定会議

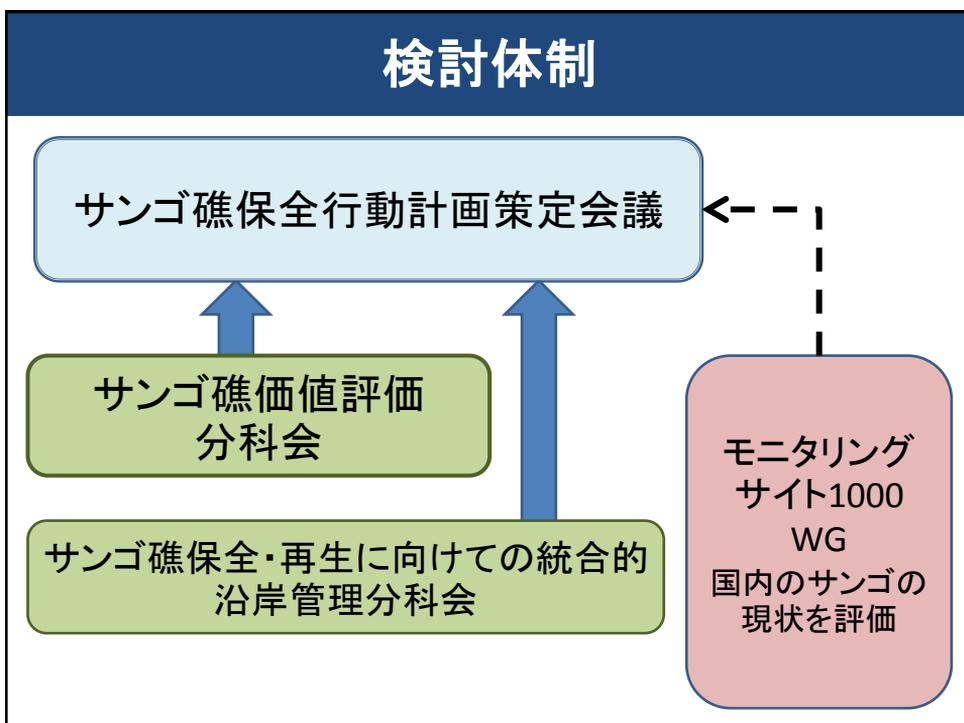
- 第1回 サンゴ礁保全行動計画策定会議（平成20年6月5日、東京）

幅広い関係省庁・自治体の参加

第1回サンゴ礁保全行動計画策定会議 の主な出席者

- 委員長： 灘岡和夫教授(東工大)
委員： サンゴ礁関連の生物・生態・漁業・
観光・経済等の有識者(11名)
関係省庁： 内閣府、農林水産省、国土交通省、環境省
関係自治体： 和歌山県、徳島県、愛媛県、高知県、
長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県
事務局： 環境省自然環境局

検討体制



サンゴ礁価値評価分科会

【目的】

サンゴ礁の有する機能(価値)を、できる限り客観的な評価手法を用いて評価することで、サンゴ礁保全行動計画で必要とされる行動の、必要性の基礎的な考え方を提供するとともに、今後、サンゴ礁の価値の国民的理解の増進を図るための普及・啓発活動を展開すること。

【分科会】

- ・ 第1回サンゴ礁価値評価分科会(平成20年6月6日、東京)
- ・ 第2回サンゴ礁価値評価分科会(平成20年10月31日、沖縄)

【具体的取り組み】

- ・ サンゴ礁の価値・機能のレビューと分類(フローチャート作成)
- ・ サンゴ礁の価値・機能の定量的評価可否の検討
- ・ 定量的評価試算
 - 自給・商業用海産物
 - 観光・レクリエーション
 - 消波機能

サンゴ礁保全・再生に向けての 統合沿岸管理分科会

【目的】

サンゴ礁保全行動計画に記載される行動を、海域に限らず陸域も含めた統合的な沿岸管理の考え方を踏まえつつ検討。

【分科会】

- ・ 第1回分科会(平成20年8月7日、東京)
サンゴ礁に影響を及ぼす主な要因と対策、統合的沿岸管理について
- ・ 第2回分科会(平成20年8月29日、沖縄)
個別テーマ: 陸域起源負荷対策、海洋保護区
- ・ 第3回分科会(平成20年10月16日、東京)
個別テーマ: 観光、海洋レジャー
- ・ 第4回分科会(平成20年12月25日、東京)
個別テーマ: サンゴ移植、オニヒトデ駆除、モニタリング

今後の予定

| 時期の目安 | | 策定会議 | 分科会 | 行動計画 |
|--------|----|---------|---------------|--------------|
| 平成21年度 | 2月 | | 第5回統合的沿岸管理分科会 | |
| | 3月 | 第2回策定会議 | | |
| 平成22年度 | 春頃 | 第3回策定会議 | 第6回統合的沿岸管理分科会 | |
| | | | 第7回統合的沿岸管理分科会 | |
| | | 第4回策定会議 | | 初期案 |
| | 秋頃 | | | パブリックコメントの実施 |
| | | 第5回策定会議 | | 修正案 |
| | | 第6回策定会議 | | 完成 |